

実動対抗演習抗議！28～29日、連続スタンディング

第1師団(司令部；練馬駐屯地)と第2師団(司令部；旭川駐屯地)の実動対抗演習に対する監視と抗議のスタンディングが行われています。

今回、とりわけ問題なのは、演習の前に「事前教育」と称して、町生涯学習センター「みなくる」を自衛隊が使用するということです。

平和のための施設、町民が学び、憩い、交流する場である「みなくる」を軍事目的で使ってはなりません。矢臼別演習場内には、米海兵隊移転訓練用に建てた立派な施設もあります。使うならそこを使うべきです。

28日(日)、29日(月)の2日間、連続スタンディングを行う方針です。

28日は、9人が参加して、「みなくる」前でスタンディングを行いました。明日(29日)も行います。ぜひ、多くの皆さんが参加されますよう改めて呼びかけます。

5月29日(月) 10:00～ 生涯学習センター「みなくる」前

定期総会(5/27) 19人の参加、活発な論議で成功

矢臼別D型ハウス、定刻の10時半に開会。矢臼別平和運動に所縁の方でこの1年間に亡くなられた方々に黙とうを捧げた後、上出雅彦会長が開会のあいさつをしました。

<上出会長のあいさつ(骨子)>

この一年間、矢臼別平和委員会はいろいろなことをやってきました。

岸田政権は「大軍拡」路線に踏み出し、43兆円の税金を使うと言っています。弱い立場の人が生きていけない世の中になろうとしています。岸田大軍拡路線とどのようにたたかっていくか、その決意を確かめ合う機会に今日の総会をしたいと思います。

会長あいさつの後、司会に寺川真幸さんを選出して議事に入りました。

事務局から2022年度の活動総括～途切れることなくスタンディングが行われ、前年度を220人上回る延べ参加数だったことなど～が報告、会計と監査からは決算と監査報告がされ、了承されました。

2023年度の活動方針についても、理事会提案を踏まえつつ活発な意見交流の中で補強され了承されました。(参加できなかった会員には「議案書」をお送りします。総会論議について詳しくは「会員だより」をお読みください。)

22年度の理事が全員23年度の理事に選出され、会計監査については、瀧川健さんに代わり赤石和幸さんが選出されました。(西村久子さんは引き続き)